

## 第2章 高山本線（高山～富山）

### 第1節 概要

2024年6月18日（火）から6月24日（月）までの6泊7日の高山本線の仕上げ旅、天や神のご加護に加え、地元の人のご支援などを得て、無事、高山駅から富山駅までの営業キロ89.4kmを全駅舎立ち寄りにより踏破できる。感謝感激で一杯となる。これで”[こだわり鉄道つたい歩き](#)” PDF 読本シリーズの第18巻（高山本線）と”[日本横断歩き鉄の旅](#)” PDF 読本シリーズの第57編（高山本線）が執筆できる環境となる。加えて、[本州に登場する全本線](#)（東北・東海道・山陽・奥羽・羽越・元信越・元北陸・山陰・中央・総武・関西・紀勢・高山の13路線）がすべて旅日記として、カッシー館や国立国会図書館で出揃う環境となり嬉しい限りだ。



これで2000年5月3日（水）から通算営業キロは、**1万5千724km（活動日数774日、日本の鉄道の56.8%、地球円周の39.4%）**となり、当面の目標である1万6千キロまで276kmとなった。

今回の旅の特筆すべき点は次の通り。苦しい場面も多々あったが、**小さな冒険家**として無事帰還できかつ有言実行でき最高の6泊7日の旅であった。

①新横浜駅で大雨の影響で35分位新幹線が遅延する環境となったが、JR東海のご尽力で何とか名古屋駅から無事ひだ13号に乗ることができる。



②猪谷駅から杉原駅まで区間、国道41号線から国道360号線に進路変更すべきところ、誤って15分位そのまま41号線を進むが、運よく地元の人と対面し、上手くりカバリーができる。



※誤って国道41号線を進行、リカバリーへの路

③打保駅への道筋、道路工事で通行止めのところ、工事責任者をお願いして、通行させて頂く。非常に助かった。もしダメだったら2時間位迂回を余儀なくされた。



※工事現場を通行させて頂く

④ネットによる事前勉強が大いに役立った。しかし、速星駅手前で地図をロストしたため、婦中鵜坂駅、西富山駅と苦戦を強いられが、地元の方のご支援で無事踏破できる。特に婦中鵜坂駅への道筋、親切の方に補助席に乗せて頂き、ロスタイムを解消できる。このご好意がなければ、6月22日（土）中には猪谷から富山までの踏破はできていなかったかも知れない。

⑤スマホ故障により2024年6月8日（土）に新スマホに切り替えたばかりで、ナビ検索の設定をしておらず、現在地点が判明できないまま暗中模索で進んだ。そのため、東八尾駅を通り過ぎる場面にも遭遇した。しかし、ここでも地元の人のお陰で無事リカバリーできる。

⑥天気予報を勘案し、猪谷駅から富山駅までの区間を1日で歩く日程に変更して良かった。もし、前倒していなければ、大雨の中、越中八尾駅から富山駅まで歩くことを余儀なくされた。いい英断だった。お陰で富山ガラス美術館を鑑賞することができた。



※富山ガラス美術館

⑦歩き鉄の間に観光を入れる重要性を強く痛感した。足腰の休養もできるからだ。お陰で長年の夢であった白川郷にも立ち寄ることができた。





⑧今回も旅先で多くの人と出会うことができた。



## 第2節 旅プラン

高山本線仕上げ旅（高山～富山：営業キロ 89.4km）

○6月18日（火）雨／晴れ

ひかり 643号 新横浜 12:51 → 名古屋 14:14

ひだ 13号 名古屋 14:48 → 高山 17:13

高山泊：高山シティホテルフォーシーズン（0577-36-0088）



○6月19日（水）快晴

高山 5:31 → 猪谷 6:40

猪谷～杉原～打保（うつぼ）～坂上（22.6 km）

坂上 15:46 → 高山 16:27

高山泊

○6月20日（木）晴れ

高山 5:31 → 坂上 6:08

坂上～角川～飛驒細江～杉崎～飛驒古川～飛驒国府～上枝～高山（30.2 km）

高山泊

○6月21日（金）雨／晴れ

飛騨白川郷散策 （バス代片道2,600円）

8：50 → 9：40

9：45～12：50 観光

13：15～14：05 高山駅への移動

高山泊

○6月22日（土） 晴れ

高山5：31 → 猪谷6：40

猪谷～楡原（にれはら）～笹津～東八尾～越中八尾～千里～速星  
～婦中鵜坂～西富山～富山（36.6km）

富山泊：東横イン富山駅新幹線口Ⅰ（076-433-1045）



○6月23日（日）大雨

富山ガラス美術館観光 （14時半～15時半）

富山泊

○6月24日（月）晴れ

かがやき506号 富山9：26 → 大宮11：11

### 第3節 1日目：6月18日（火）：移動日 雨／晴れ

2024年6月18日（火）雨／晴れ、高山本線仕上げ旅の1日目は、高山駅界隈のホテル（高山シテイホテルフォーシーズン）までの移動。新横浜駅で三島～新富士の間で集中豪雨のため、新幹線運転の見合わせがある。不安な時間が続く。しかし、35分位の遅れで再開となりホッとする。それでも名古屋駅でひだ13号（名古屋発14時48分）に間に合うか否か心配な時間が続く。



※再掲



※新横浜駅





※ひだ 13 号、美濃太田駅

豊橋駅付近で、「ひだ 13 号にご乗車の方は車掌が回りますからご連絡ください」との車内放送がある。手を挙げて巡回中の車掌に特急券をお見せし、ひだ号に乗る旨を連絡する。座席番号を控えて立ち去る。そして、名古屋駅手前で、「9 分遅れの 14 時 57 分で連絡します」と先程の車掌から連絡がある。加えて、車内放送もある。このタイムリーな JR 東海の対応に感謝また感謝で一杯となる。新幹線は名古屋駅に 14 時 50 分頃到着。大急ぎで 11 番ホームに停車中のひだ 13 号に乗車する。

本年 3 月、間違った車両に乗った苦い思い出が蘇る。今度はそんなことのないよう用心して乗り合わせる。ひだ 13 号は先頭が高山行き（1 号車～4 号車）、富山行き（7 号車から 10 号車）から構成されていた。座席は岐阜からの進行に対し設定されていた。すなわち、岐阜までは座席に足し反対方向に進み、岐阜駅から正常な方向に進むという座席形態であった。

途中要所要所で高山本線の観光案内がある。今回は 2 度目であったので、3 月に歩いた懐かしい思い出とドッキングしてアナウンスを聞かせて頂く。車窓から懐かしい思い出が次々登場する。そんなことをしている内に高山駅に到着する。高山の街並みを散策しながら、高山シテイホテルフォーシーズンに向う。ホテル（406 号室）には 17 時 53 分到着する。値段も手頃でいいホテルであった。



※高山駅



※フォーシーズンへの路

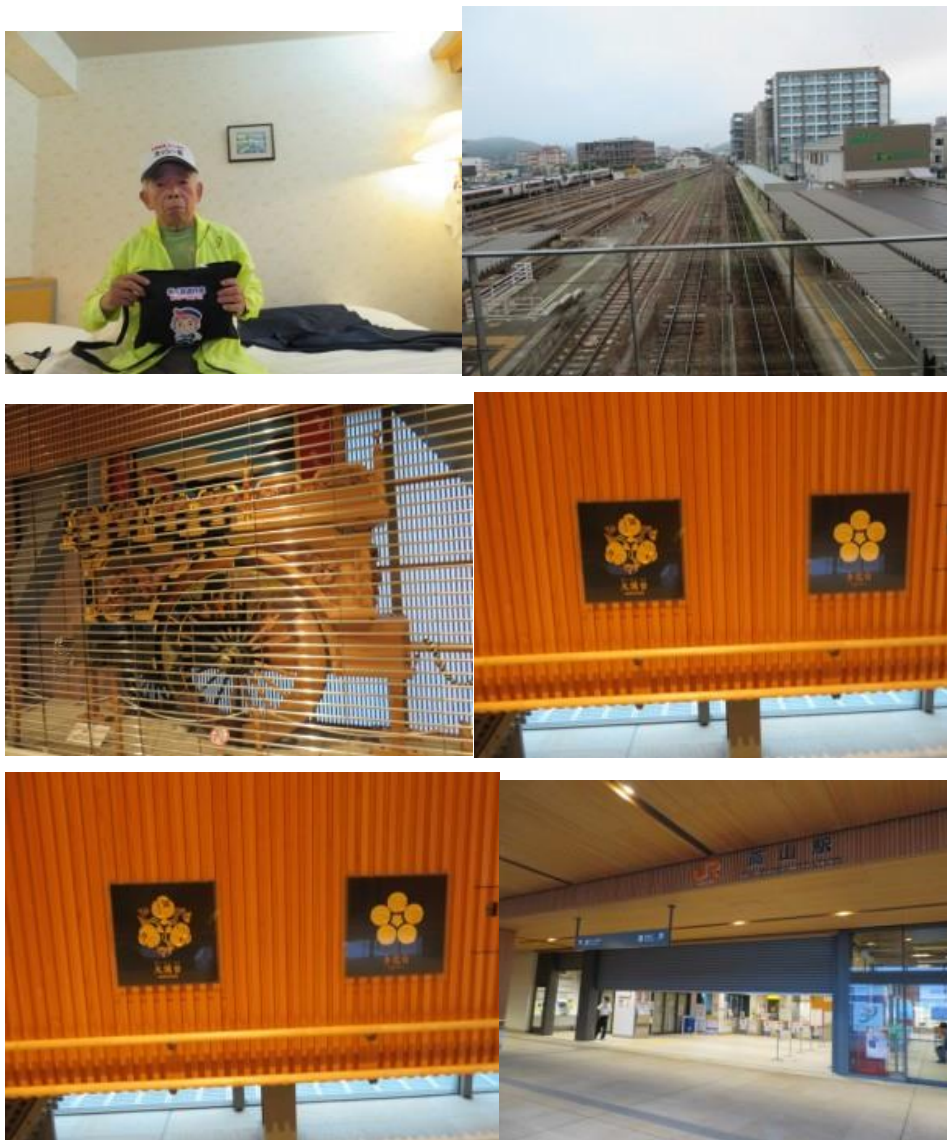
温泉で汗を流した後、ホテルで紹介された、ホテル前の寿楽久に向かう。この店で地元在住の杉原さんという方と世間話をする機会を得る。また、うなぎのつまみをご馳走になる。カッシーチラシを渡す機会を得、盛り上がる。楽しい楽しいひと時であった。加えて、おすすめ料理・酒などを通じてマスターとも話す機会を得る。



※寿楽久で楽しいひと時

#### 第4節 2日目：6月19日（水）：猪谷～坂上 快晴

2024年6月19日（水）快晴、高山本線仕上げ旅の2日目は、猪谷駅から坂上駅までの22.6kmに挑戦する。本日の車両は、高山駅5時31分発なので寝過ごさないよう細心の注意が要求された。それ故、余り枕を高くして就寝できず。ホテルを5時前に出る。朝の高山駅界隈を種々のアングルで撮影後、始発の電車に乗り込む。5時15分頃、駅シャッターが開く。本日の各駅到着時刻は次の通り。



※高山駅



※いざ高山駅へ

猪谷(6:46)～杉原(9:57)～打保(うつぼ、11:21)～坂上(14:40)



いざ猪谷駅へ



※猪谷駅



#### ※猪谷駅

①猪谷駅を種々のアングルで撮影して、杉原駅を目指す。6時47分、猪谷関所館前を通過し、6時51分、国道41号線に合流する。7時1分より758mある猪谷トンネルを通過する。このトンネルを抜けると新国境橋（万歩計で156歩）がある。この橋を渡ると富山県富山市から岐阜県飛騨市となる。右手のJR線が見え安堵するが、この道筋の歩きはNGであった。偶然にも通行人の方に対面できたのが幸いであった。もし、この通行人の方にお会いできていなかったら2時間3時間と大きくロスタイムが生じる場所であった。胸を撫でおろす。先程来た路を引き返し、国道360線への分岐点（7時39分）まで引き返す。30分位ロスタイムが生じる。



※猪谷関所館



※国道 41 号線を歩く



※猪谷トンネルを通り抜け誤った方向に進行





### ※リカバリーへの路

7時47分より、万歩計で291歩ある蟹寺トンネルを通過する。このトンネルを出た先でも右往左往する。もしかすると、この道がナビによる細道かも知れないと思い、5分位歩くが、途中通行止めのような感じであったので引き返す。辺りには人影はなく、ネットで猪谷から杉原までの道筋を確認する。国道360号線を歩けば行けるとの道筋であった。しかし、途中で国道360号線を離れる必要があった。このポイントに注意して歩く。8時8分より2,620mある越路トンネルを通過する。8時43分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。丁度、高山方面に向かつて列車が通過して行く。間違っていない道筋を歩いていないことが確認でき安堵する。8時56分、右手に鉄橋を確認する。8時58分より、加賀沢トンネルを通過する。



※蟹寺トンネル出た先も誤った方向に進行しようとする



※超路トンネル、加賀沢トンネル、ポイントの鮎飛橋

9時28分、高山50km、飛騨古川35kmと記した地点に到達。その先に宮川を横切る鮎飛橋（あゆとびばし）があった。この橋を渡るか否か右往左往する。地図を確認するのがよかった。宮川を渡ると大きく迂回を余儀なくされた。加えて、工事中のため、杉原駅への踏破は断念を余儀なくされていたかも知れない。今考えるとタイムリーな確認であった。9時43分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。9時51分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。その先に杉原駅があった。近くにまんが王国の施設があった。



※杉原駅への路



※杉原駅



※杉原駅

②鉄道に沿って右側を歩く。10時18分、工事現場前に到着。車道だけの工事と思えば、歩道を含めた工事であった。5m位にわたって、道路は陥没していた。15人位の作業員がいた。しかし、よく見ると用心して歩けば通り抜けられそうな現場であった。それで、現場まで足を運び、何とか通行させて頂くようお願いする。交渉の結果「OKの許可」を得、安堵する。ここでも工事責任者に感謝すると共に、天や神のご加護を強く感じた。



※打保駅への路





※打保駅

10時23分、桑野踏切を横切り鉄道の右側となる。10時33分、国道360号線に合流する。10時44分より871歩ある洞門を通過する。この洞門は火照った身体を癒してくれた。この洞門を通過すると、10時56分、48歩ある戸谷橋（戸谷川）があった。11時1分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。11時5分、日差しが厳しくなりサングラスを着用する。11時13分、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。11時21分、打保駅に到着する。

③11時45分、成手山踏切を横切り、鉄道の左側となる。11時43分、富山方面の特急車両と対面する。11時50分より、621歩ある洞門を通過する。12時2分、右手に成手トンネルがあったが、このトンネルを通過することなく、直進する。12時10分、98歩ある青い橋を渡る。その先で国道360号線に合流する。左右どちらに進むべきか迷う。地図を再確認し左側に進む。結果大正解であった。12時42分より、1,142歩ある大瀬トンネルを通過する。12時43分より、386歩ある蛇淵橋を渡る。12時50分より、文量子トンネルを通過する。国道360号線で高山38km、飛騨古川23kmと記した標識前を12時55分通過する。13時3分より、252歩ある洞門を通過する。それにしても洞門の多さにビックリする。13時8分より、178歩ある洞門を通過する。



### ※坂上駅への路

13時14分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。13時50分、宮川町丸山という標識前を通過。13時55分より、326歩ある橋を渡る。13時58分より、全長731mある高牧トンネルを通過する。14時13分より、260mあるグリーンの忍橋を通過する。14時40分、やっと坂上駅に到着する。この駅で1時間6分の待ち合わせ時間がある。待ち時間の間、地元の人と話す機会を得る。その中で、どの駅舎が一番標高が高いか話題となる。高山か飛騨古川辺りではないかの回答がある。そんなことを話しているうちに、長い待ち時間が消化できる。後でネットにて確認したところ、意外にも久々野駅（くぐの）であった。3月この駅前でランチをとったのを思い出した。



### ※青い橋



※忍橋



※坂上駅

④2 両編成の車輛（美濃太田行き）は15時頃やってくる。富山行きの特急列車と離合待ち合わせがあった。車窓から明日の道筋を確認しながら高山駅に向かう。高山駅には16時27分到着。ホテルの温泉に浸った後、昨夜お邪魔した寿楽久に向かう。マスターと高山祭についてお伺いする機会を得る、4月と10月の年2回あるとのことであった、近隣のホテルは予約が難しいとのことであった。「明後日、最後の高山の夜を締めるためにやって来ます。記念写真をお願いします」と言ってこの店を後にする。本日も充実した一日を送ることができた。天や神に感謝！！



※寿楽久で締め